

(2) 学科科目の履修方法

【平成24年度以降入学生】学科科目の卒業所要単位は72単位です。そのうちコース基幹科目から24単位、コース発展科目・コース自由科目（卒業所要単位にならない科目を除く。）・専門共通科目から40単位を修得しなければなりません（詳細は「2-3 卒業に必要な単位数」）。

【平成23年度以前入学生】学科科目の卒業所要単位は72単位です。そのうちコース基幹科目から24単位、コース発展科目・専門共通科目・教職共通科目（卒業所要単位にならない科目を除く。）から40単位を修得しなければなりません（詳細は「2-3 卒業に必要な単位数」）。

本学の特徴は、学科の垣根を越えて、幅広い学習ができるところにあります。卒業所要単位にとらわれず、関心を広くもって、積極的に他学科科目、専門共通科目を履修するように心がけてください。

◎「研究指導（ゼミナール）」の履修方法

研究指導（ゼミナール）は、原則として必修とし、8単位修得しなければなりません。

研究指導は、毎週2時間、3年次から2年間の継続授業で8単位となります。

なお、4年次になってゼミナールの所属を取りやめる場合には、4月の履修登録期限までにノンゼミに移行することを承諾する旨の学科の許可を受けなければ、ノンゼミになることができません。

《研究指導の単位を残したまま留年した場合の取り扱い》

(1) 研究指導は、2年間の学習を総合して成績評価を受け、単位認定が行われます。本学では、研究指導は、半期（前期又は後期）ごと4つのユニットによって構成されるものとして取り扱っています。以下のとおり。単位認定を受けるためには、この4つのユニットを満たしていることが条件です。

第1ユニット	第2ユニット
第3ユニット	第4ユニット

(2) 研究指導の単位を残したまま留年した場合は、第4ユニットが欠けていることとなりますから、再度、第4ユニット分を履修しなければなりません。従って、半年留年して9月卒業する場合は、引き続き研究指導を履修しなければなりません。1年間留年する場合は、後期からの履修が可能です。

《卒業論文の取り扱い》

(1) 「卒業論文」の単位を修得するためには、二つの学期を履修することになります。

(2) 「卒業論文」の単位を修得できない場合は、再度、二つ目の学期の履修が必要です。